

## 付属資料



## 全自治体調査

## I 雇用失業情勢全般についてうかがいます。

問1 リーマン・ショック以降の貴自治体の雇用状況等に関して、次のようなことがありましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。 N=904

1	地域の産業は農林漁業など第一次産業が中心である	35.5%
2	地域の産業は建設業や製造業など第二次産業が中心である	17.8%
3	地域の産業はサービス業や小売業など第三次産業が中心である	33.5%
4	地域にある企業・事業所は規模が小さいところが多い	75.3%
5	公共事業が減少している	39.6%
6	地域の雇用を支えてきた企業・事業所の倒産、廃業、撤退・閉鎖、規模縮小などがあつた	35.0%
7	採用規模を縮小したり、募集をやめた企業が多い	20.0%
8	東日本大震災の復興需要により雇用状況が改善している	4.3%
9	正規従業員の求人が少ない	37.6%
10	非正規従業員(パート、アルバイトなど)の求人が多い	34.1%
11	直接雇用の求人が少ない	9.4%
12	間接雇用(派遣や請負など)の求人が多い	6.6%
13	臨時など短期間の求人が多い	15.8%
14	求人企業が提示する賃金水準が求職者の希望より低い	14.4%
15	求職者が希望するような仕事の求人が少ない	34.2%
16	求人そのものが少ない	36.4%
17	求人はあるが充足されないものが多い	15.2%
18	雇用機会を求めて他の地域に流出する人が多い	38.6%
19	雇用機会を求めて他の地域から流入してくる人が多い	3.5%
20	その他(具体的に:	) 2.0%

II 雇用創出基金事業(ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用事業、重点分野雇用創造事業)の実施状況と雇用創出数についてうかがいます。

以下でいう雇用創出基金事業とは、地域の雇用失業情勢が厳しい中で、離職した失業者等の雇用機会を創出するため、各都道府県で基金を造成し、各都道府県及び市区町村において、地域の実情や創意工夫に基づき、雇用の受け皿を創り出す事業のことで、次の事業のことで。

- ◆ふるさと雇用再生特別基金事業:地域の創意工夫で、地域の求職者等が継続的に働く場を創る事業。
- ◆緊急雇用事業:離職を余儀なくされた失業者等の一時的な雇用・就業機会を創る事業。
- ◆重点分野雇用創造事業:介護、医療等今後の成長が見込まれる分野で雇用創出や人材育成を行う事業。

問2 貴自治体の雇用創出基金事業の実施状況についてうかがいます。都道府県の方は基金による都道府県事業について、市町村の方は基金による市町村事業についてご回答ください。

- (1)実施した事業について、計画した事業数を記入してください。事業を実施していない場合は、「×(バツ印)」をご記入ください。
- (2)実施した事業それぞれの計画した雇用創出人数を記入してください。事業を実施していない場合は、「×(バツ印)」をご記入ください。
- (3)実施した事業それぞれの創出された雇用人数を記入してください。事業を実施していない場合は、「×(バツ印)」をご記入ください。

	ふるさと雇用再生 特別基金事業 (平成 20～24 年度)	緊急雇用事業 (平成 20～23 年度)	重点分野 雇用創造事業 (平成 21～24 年度)
(1)計画した事業数	合計 N=724 平均 19.1 事業	合計 N=875 平均 60.9 事業	合計 N=786 平均 34.6 事業
(2)計画した雇用創出人数	合計 N=701 平均 84.5 人	合計 N=844 平均 440.0 人	合計 N=761 平均 288.4 人
(3)雇用創出の実績人数	合計 N=721 平均 90.5 人	合計 N=869 平均 516.5 人	合計 N=783 平均 312.5 人

### Ⅲ 雇用創出基金事業の具体的な実施状況についてうかがいます。

問3 雇用創出基金事業の実施の様子について、以下の点についてどうでしたか。「1 そうだ」～「3 ちがう」のなかからあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(それぞれ○は1つ)。

なお、直接事業だけを実施し、事業委託を行っていないなど、あてはまらない場合は、「4 該当しない」に○をつけてください。

#### (1)事業の企画・立案などについて (N=914)

	そう だ	い え な い ど ち ら と も	ち が う	該 当 し な い	無 回 答
事業の企画・立案は迅速に行われた	52.1%	41.6%	2.4%	0.8%	3.2%
事業についての委託先などへの周知は適切に行われた	62.5%	30.5%	1.1%	3.3%	2.6%
委託先の募集に対して十分な数の事業者が応募した	22.6%	54.3%	11.6%	8.3%	3.2%
事業の委託先の募集から選定まで円滑に進んだ	53.0%	35.8%	2.8%	5.3%	3.2%
事業計画は具体的で実行可能性が高かった	67.2%	28.1%	0.5%	1.0%	3.2%
実行可能な事業執行の工程表が作られた	45.8%	42.9%	5.0%	3.1%	3.2%
事業計画を企業や住民などに説明し、理解、協力が得られた	27.1%	52.2%	7.5%	10.1%	3.1%

## (2)事業の実施について(N=914)

	そう だ	い え な い	ど ち ら と も	ち が う	該 当 し な い	無 回 答
行政や事業者等の利害関係者間の調整は適切に行われた	67.1%	25.1%	0.4%	4.6%	2.8%	
事業による求人の周知が求職者に対して適切に行われた	82.8%	13.5%	0.3%	0.5%	2.8%	
事業による求人に多くの求職者から応募があった	27.4%	61.7%	7.0%	0.9%	3.1%	
事業は計画通りのスケジュールで実施された	60.8%	34.7%	1.1%	0.7%	2.7%	
中間段階で事業の会計の監査を行った	16.1%	35.0%	35.7%	9.4%	3.8%	
計画していた人数の雇用が創出された	72.5%	20.9%	2.7%	0.5%	3.3%	
計画していた要件(雇用期間や正規雇用かどうかなど)を満たす雇用が創出された	63.8%	30.4%	1.9%	0.8%	3.2%	
事業の計画から実施まで効率的に進んだ	56.0%	38.3%	2.4%	0.4%	2.8%	

## (3)事業による効果について(N=914)

	そう だ	い え な い	ど ち ら と も	ち が う	該 当 し な い	無 回 答
ア 事業によって雇用された人の事業終了後の雇用につながった	19.6%	64.6%	12.9%	0.7%	2.3%	
イ 雇用状況が下支えされた	46.7%	45.2%	4.8%	0.9%	2.4%	
ウ 中小企業の人材確保につながった	22.9%	55.6%	14.9%	4.3%	2.4%	
エ これまで実施できなかった事業を行うことができた	84.6%	11.5%	0.8%	0.4%	2.7%	
オ 地域で不足している人材を育成できた	30.3%	55.5%	9.1%	2.7%	2.4%	
カ 企業誘致や観光客の増加などにつながった	18.9%	54.8%	17.7%	6.0%	2.5%	
キ 基金事業終了後、事業継続しているものが多い	14.4%	56.5%	24.9%	1.5%	2.6%	
ク 地域の活性化につながった	35.4%	54.6%	5.7%	2.0%	2.3%	

付問 (3)に上げた基金事業の効果のうち、最もよかったと思うものはどれですか。各項目に付したア～クのなかから1つ選んで記号をお書きください。(N=914)

ア 事業によって雇用された人の事業終了後の雇用につながった 8.5%

イ 雇用状況が下支えされた 19.9%

ウ 中小企業の人材確保につながった 1.5%

エ これまで実施できなかった事業を行うことができた 52.2%

オ 地域で不足している人材を育成できた 3.1%

カ 企業誘致や観光客の増加などにつながった 1.5%

キ 基金事業終了後、事業継続しているものが多い 1.8%

ク 地域の活性化につながった 4.7%

無回答 6.8%

問4 基金事業についての評価を実施しましたか。下記の項目についてそれぞれあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(それぞれ○は1つ)。(N=914)

	実施した	実施していない	(複数の事業を実施した場合) 一部の事業について実施した	無回答
事業の事前評価	21.8%	63.9%	10.0%	4.4%
事業実施中の中間評価	10.0%	73.7%	11.9%	4.4%
事業の事後評価	28.6%	48.1%	18.9%	4.4%
評価結果の事業への反映	17.2%	59.5%	18.4%	4.9%
事業評価結果の情報公開	6.0%	82.6%	6.7%	4.7%

問5 雇用創出基金事業を実施するにあたり、貴自治体ではどのような点に苦労しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。(N=882)

1	事業を実施するノウハウがなかった	25.6%	
2	地域の産業が限られているなど、事業のメニューが限られた	38.7%	
3	事業による仕事の内容と求職者が求める仕事の内容が異なっていた	14.5%	
4	事業の委託先として適当な企業やNPOが地域にない(少ない)	45.0%	
5	事業の委託先の応募数が少なかった	13.9%	
6	事業内容が政策目標を達成するために適切なものかどうか判断に迷った	16.9%	
7	事業の予算額が適切かどうか判断に迷った	16.0%	
8	事業が計画通りに進まなかった	9.9%	
9	事業を迅速に実施できなかった	5.2%	
10	事業を実施するにあたり、部署間の連携がとれなかった	11.3%	
11	基金事業を担当する職員が少なく、事業の管理が難しかった	40.6%	
12	行政関係者以外の利害関係者に取組みが広がらなかった	12.7%	
13	不適正事例が発生した	3.9%	
14	その他(具体的に		) 6.1%
15	特にない	8.2%	

問6 新たな雇用機会の創出のために、基金事業と他の産業政策や地域振興のための事業を組み合わせ実施したことはありますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。(N=827)

1	基金事業と他の産業政策や地域振興のための戦略・計画・事業を意識的に組み合わせて実施した	25.1%
2	意識的ではないが、結果として基金事業と他の産業政策や地域振興のための事業を同時に実施した	15.2%
3	基金事業と産業政策や地域振興のための事業は関係なく実施した	60.5%
4	その他(具体的	) 3.9%

付問 貴自治体では、基金事業以外にどのような事業を活用しましたか。事業名と所管の機関等の名称をご記入ください(主なもの3つまで)。

	事業名	所管
①	省略	省略
②	省略	省略
③	省略	省略

#### IV 雇用創出基金事業の成果と課題についてうかがいます。

問7 貴自治体の実施した雇用創出基金事業(ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用事業、重点分野雇用創造事業)のうち、最も成功したとお考えの事業について、①事業名、②個別事業名、③事業期間をお書きください。

①事業名(該当するもの1つに○) (N=914)	②個別事業名(例:○○事業)	③事業期間
1 ふるさと雇用再生特別基金事業 24.6%	省略	平成 年～
2 緊急雇用事業 23.2%		平成 年
3 重点分野雇用創造事業 25.5%		省略
無回答 26.7%		

付問 問7でお書きになった事業についてうかがいます。この事業が「成功した」とお考えの理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。(N=732)

1	事業によって雇用された方の多くが委託先での継続雇用につながったから	43.2%
2	事業によって雇用された方の多くが事業を通じて獲得した経験・スキル等により委託先以外での雇用につながったから	19.7%
3	受託先の人材確保による事業拡大を通じて具体的な「雇用の波及効果」につながったから	11.6%
4	企業誘致の成功、観光客の増加等、成果が具体的な「雇用の波及効果」につながったから	11.7%
5	事業を通じてNPO等地域の関係者の育成や地域関係者間のネットワークを構築できたから	14.6%
6	「求職者の雇用機会を確保できた事業であること」以外に特に理由はない	19.0%
7	その他(具体的に	) 15.8%

問8 貴自治体が実施した雇用創出基金事業(ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用事業、重点分野雇用創造事業)のうち、最も失敗したとお考えの事業について、①事業名、②個別事業名、③事業期間をお書きください。

事業名(該当するもの1つに○) (N=233)	個別事業名(例:○○事業)	事業期間
1 ふるさと雇用再生特別基金事業 6.7%	省略	平成 年～
2 緊急雇用事業 10.3%		平成 年
3 重点分野雇用創造事業 8.5%		省略
無回答 74.5%		

付問 8-1 問8でお書きになった事業についてうかがいます。この事業が「失敗した」とお考えの理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。(N=267)

1	求職者のニーズを捉えておらず、募集しても応募がなかったから	25.8%
2	事業委託先の不適正経理等により、事業の中止や事業費の返還等を求めたから	9.0%
3	継続雇用や人材育成を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用や人材育成につながらなかったから	27.3%
4	当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため	23.2%
5	その他(具体的に	) 22.5%

付問 8-2 付問 8-1 で「3 継続雇用や人材育成を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用や人材育成につながらなかったから」または「4 当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため」とご回答の方にはうかがいます。「事業で雇用した方の継続雇用や人材育成につながらなかった」理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。(N=125)

1	事業内容は目的達成可能な計画であったが、委託先に問題があった	18.4%
2	事業内容自体に問題があった	27.2%
3	事業内容、委託先ともに問題があった	17.6%
4	その他(具体的に	) 35.2%
無回答		1.6%

問9 全体的に見て、雇用創出基金事業の効果をどのように評価していますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。(N=914)

1	良い	27.2%	付問 9-1 にご回答ください。
2	どちらかといえば良い	41.4%	
3	どちらともいえない	24.8%	→ 問 10 に進んでください。
4	どちらかといえば悪い	3.2%	付問 9-2 にご回答ください。
5	悪い	0.2%	
無回答		3.2%	



付問 9-1 問9で「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とご回答の方には「良い」「どちらかといえば良い」と評価された理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。(N=626)

1	事業によって雇用された方の多くが委託先での継続雇用につながったから	22.2%
2	事業によって雇用された方の多くが事業を通じて獲得した経験・スキル等により委託先以外での雇用につながったから	24.0%
3	事業によって直接雇用された方の多くが事業終了後の雇用につながったから	10.4%
4	受託先の人材確保による事業拡大を通じて具体的な「雇用の波及効果」につながったから	15.2%
5	企業誘致の成功、観光客の増加等、成果が具体的な「雇用の波及効果」につながったから	10.1%
6	事業を通じてNPO等地域関係者の育成や連携につながったから	16.6%
7	地域の実情に即した取組みが可能であるから	52.7%
8	「求職者の雇用機会を確保できた事業であること」以外に特に理由はない	29.6%
9	その他(具体的に	) 4.6%

付問 9-2 問9で「4 どちらかといえば悪い」または「5 悪い」とご回答の方には「どちらかといえば悪い」「悪い」と評価された理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。(N=31)

1	事業によって雇用された方の多くが委託先での継続雇用につながらなかったから	71.0%
2	事業によって雇用された方の多くが委託先以外での雇用につながらなかったから	35.5%
3	企業誘致の成功、観光客の増加等、成果が具体的な「雇用の波及効果」につながらなかったから	25.8%
4	事業を通じてNPO等地域関係者の育成や連携につながらなかったから	9.7%
5	求職者のニーズを捉えておらず、募集しても応募がなかった(少なかった)から	22.6%
6	事業委託先の不適正経理等により、事業の中止や事業費の返還等を求めたから	3.2%
7	継続雇用や人材育成を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用や人材育成につながらなかったから	32.3%
8	当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため	9.7%
9	その他(具体的に	) 19.4%

付問 9-3 付問 9-2 で「7 継続雇用や人材育成を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用や人材育成につながらなかったから」または「8 当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため」とご回答の方には「事業で雇用した方の継続雇用につながらなかったり、事業目標を達成できなかったりした理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。(N=11)

1	事業内容は目的達成可能な計画であったが、実施する委託先に問題があった	9.1%
2	事業内容自体に問題があった	18.2%
3	事業内容、委託先ともに問題があった	36.4%
4	その他(具体的に	) 36.4%

問 10 雇用創出基金事業を実施するための貴自治体の取組みについてうかがいます。

(1) 貴自治体では、今回の雇用創出基金事業を実施する際に発生した様々な課題に対応するために、どのような取組みを行いましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。

(2) 今後、再び基金事業を実施する場合、適切に対応するために、貴自治体ではどのような取組みが必要だと思いますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。

	(1) 今回行った取組み N=787	(2) 今後必要な取組み N=819
他の自治体での取組み事例を参考にして、貴自治体で活用できる事業の情報を蓄積する	44.3%	54.2%
委託先に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	16.4%	30.3%
求職者に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	16.5%	27.5%
求職者へのカウンセリングの実施や能力開発を充実させる	2.8%	13.4%
求職者に職場体験をしてもらうなど、求職者の就業の幅を広げられるような方法を講じる	4.6%	13.6%
求職者の希望を踏まえて事業を企画する	2.9%	16.0%
委託先の選定基準を柔軟にするなど、選定方法を工夫する	7.0%	17.6%
地域の企業や関係組織に事業への協力を依頼する	29.6%	29.8%
外部の専門家、学識経験者などから事業について助言や指導を得る	5.5%	12.3%
事業の進捗状況を随時点検し、析出された課題に対応する	20.2%	28.2%
委託先に対して調査や監査を実施し、適正な事業執行に努める	19.7%	28.3%
国、労働局などの関係機関、大学などとの連携を強化する	5.1%	13.2%
地域の利害関係者間の連携を強化する	5.7%	11.4%
専任の担当者を決めたり、部門横断的な取組み体制を作る	10.5%	24.1%
職員の中から専門人材を育成し、対応する	1.8%	10.1%
委託先や事業で雇用された人を対象に調査を実施して、課題に対応する	3.2%	19.5%
賃金水準や労働時間を地域の実情に合わせるよう調整する	14.7%	10.5%
事業についての評価を実施する	13.9%	33.6%
その他(具体的に )	0.6%	1.1%
特になし	14.9%	4.6%

問 11 今後、雇用創出基金事業を実施するにあたり、国に対してどのようなことを期待しますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。(N=872)

1	基金事業の成功事例、失敗事例の情報提供	51.9%
2	委託先企業、NPOの選定に役立つ情報提供や委託の基準づくり	27.8%
3	適正な事業執行のためのフォローアップ支援	32.3%
4	委託先の監査や事業見直しの支援	7.7%
5	事業を管理、指導する人材育成の支援	63.9%
6	基金事業終了後の取組みの財政的支援	62.5%
7	評価の実施の支援	6.8%
8	その他(具体的に	) 5.7%



## Ⅱ 事業の委託先の決め方についてうかがいます。

問6 この事業の企画・実施の仕方はどうに行いましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=417 (無回答 0.5%)

1	事業内容の企画・実施ともに競争入札にした	2.9%	付問 6-1、6-2 にご回答 ください。
2	事業内容の企画・実施ともに随意契約にした	23.7%	
3	事業内容の企画は自治体が行い、事業の実施だけを競争入札にした	6.5%	
4	事業内容の企画は自治体が行い、事業の実施だけを随意契約にした	60.4%	
5	事業の企画・実施とも自治体が行った	2.9%	問7に進んでください。
6	その他(具体的に	4.6%	)

付問 6-1 委託先を選ぶ際、価格以外にどのような評価基準で選びましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=387 (無回答 0.3%)

1	事業の実施体制が整備されていること	66.4%	
2	貴自治体もしくは近隣の自治体に活動拠点があること	40.6%	
3	事業の趣旨・目的が理解されていること	71.6%	
4	事業計画の内容が地域の課題やニーズに合っていること	44.7%	
5	事業計画の内容が具体的であること	27.9%	
6	事業の実施スケジュールが適切であること	17.8%	
7	事業計画の実行可能性が高いこと	61.5%	
8	同様の事業の実績があること	31.5%	
9	委託先の従業員規模が大きいこと	1.0%	
10	委託先の財務状況がよいこと	4.9%	
11	業績が良いこと	2.1%	
12	他の自治体からの紹介	0.0%	
13	委託先関係者が信頼できること	33.9%	
14	その他(具体的に	11.1%	)
15	受託先の他には応募がなかった	3.6%	
16	特になし(価格だけで評価した)	1.3%	

付問 6-2 委託先を選ぶ際、特に重視したものはどれですか。付問 6-1 の項目からあてはまるものを1つ選んで、番号をお書きください。N=387 (無回答 1.3%)

1	19.4%	5	0.8%	9	0.0%	13	6.5%
2	2.6%	6	0.0%	10	0.0%	14	7.5%
3	16.3%	7	18.1%	11	0.0%	15	1.3%
4	16.0%	8	8.5%	12	0.0%	16	1.8%

Ⅲ 事業の実施の状況についてうかがいます。
-----------------------

問7 基金事業についての評価を実施しましたか。ア～オの点についてあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(それぞれ○は1つ)。N=417

	実施した	実施していない	(複数の事業を実施した場合) 一部の事業について実施した
ア 事業の事前評価 (無回答 6.0%)	27.3%	65.9%	0.7%
イ 事業実施中の中間評価 (無回答 5.5%)	29.0%	64.3%	1.2%
ウ 事業の事後評価 (無回答 6.2%)	49.2%	43.9%	0.7%
エ 評価結果の事業への反映 (無回答 6.7%)	34.1%	57.3%	1.9%
オ 事業評価結果の情報公開 (無回答 6.7%)	10.1%	82.3%	1.0%

問8 適正に事業を執行するために、どのような取組みをしましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=417 (無回答 1.9%)

1	事前に目的、目標、達成手段、各手段の目標達成への寄与などを明確にするようにした	57.8%
2	既に事業を実施している現場を視察したうえで選考した	12.9%
3	事業主体や担当部門にアンケートなどを実施し、事業計画の大まかな進捗状況や課題を把握した	13.2%
4	実施主体や担当部門にヒアリングを実施し、事業計画の進捗状況、経費状況、帳簿などを点検した	61.2%
5	専門家などで構成する委員会で事業の中間評価を行った	3.6%
6	専門家などから事業実施の助言を受け、事業計画の見直し、変更を行った	3.8
7	中間評価が悪い事業は、規模を縮小または中止した	1.9%
8	第三者による監査を行った	3.1%
9	事業計画、執行状況、結果などの情報公開を徹底した	2.2%
10	その他(具体的に	7.0%

問9 ふるさと雇用再生特別基金事業では、事業終了後も事業を継続して実施することが目的とされていますが、事業終了後も事業が継続可能かどうかを判断するために、どのような点に留意しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=417 (無回答 1.4%)

1	地域資源を活用した事業であること 44.6%
2	地域が抱える課題に対応した事業内容であること 70.3%
3	雇用創出人数が多いこと 3.1%
4	適切な営業活動が行われ、生産方法や販路が確保されていること 13.9%
5	類似の事業の成功事例があること 4.6%
6	収益構造が確立していること 9.8%
7	ビジネスモデルが確立していること 7.7%
8	関連産業への雇用の波及効果が大きいこと 8.4%
9	中間段階や事業終了時など、事業の評価が実施されること 3.1%
10	事業途中で発生する課題に対応する体制が確保されていること(フォローアップ体制が整っていること) 8.9%
11	専門家の支援を受けられること 5.0%
12	行政、企業、大学などの関係団体・機関の支援体制が整っていること 12.7%
13	その他(具体的に 2.9%

問10 新たな雇用機会の創出のために、この事業とほかの産業政策や地域振興のための事業を組み合わせ実施しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=417 (無回答 8.4%)

1	この事業と他の産業政策や地域振興のための戦略・計画・事業を <u>意識的に</u> 組み合わせ実施した 19.2%
2	<u>意識的ではないが</u> 、結果としてこの事業と他の産業政策や地域振興のための事業を同時に実施した 5.8%
3	基金事業と産業政策や地域振興のための事業とは関係なく実施した 61.9%
4	その他(具体的に 4.8%

付問にご回答ください。

付問 貴自治体では、基金事業以外にどのような事業を活用しましたか。事業名と所管の機関等の名称をご記入ください(主なもの3つまで)。

事業名	所管
①	
②	
③	

## IV 事業の評価と課題についてうかがいます。

問 11 今回のふるさと雇用再生特別基金事業の効果をどのように評価していますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=417 (無回答 0.5%)

1	良い 40.3%	} 付問 11-1 にご回答ください。
2	どちらかといえば良い 40.3%	
3	どちらともいえない 16.8%	} 付問 11-2 にご回答ください。
4	どちらかといえば悪い 1.9%	
5	悪い 0.2%	

→問 12 に進んでください。

付問 11-1 問 11 で、「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とご回答の方にはうかがいます。「良い」「どちらかといえば良い」と評価された理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=336 (無回答 0.3%)

1	事業によって雇用された方の多くが、委託先での継続雇用につながったから 43.2%
2	事業によって雇用された方の多くが、事業を通じて獲得した経験・スキル等により、委託先以外での雇用につながったから 19.9%
3	受託先の人材確保による事業拡大を通じて具体的な「雇用の波及効果」につながったから 17.3%
4	企業誘致の成功、観光客の増加等、成果が具体的な「雇用の波及効果」につながったから 5.1%
5	事業を通じて NPO 等地域関係者の育成や連携につながったから 20.2%
6	地域の実情に即した取組みが可能であるから 51.5%
7	「求職者の雇用機会を確保できた事業であること」以外に特に理由はない 7.4%
8	その他(具体的に 5.4%)

付問 11-2 問 11 で、「4 どちらかといえば悪い」または「5 悪い」とご回答の方にはうかがいます。「どちらかといえば悪い」「悪い」と評価された理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=9 (無回答 0.0%)

1	事業によって雇用された方の多くが、委託先での継続雇用につながらなかったから 44.4%
2	事業によって雇用された方の多くが、委託先以外での雇用につながらなかったから 22.2%
3	企業誘致の成功、観光客の増加等、成果が具体的な「雇用の波及効果」につながらなかったから 11.1%
4	事業を通じて NPO 等地域関係者の育成や連携につながらなかったから 0.0%
5	求職者のニーズを捉えておらず、募集しても応募がなかった(少なかった)から 11.1%
6	事業委託先の不適正経理等により、事業の中止や事業費の返還等を求めたから 0.0%
7	継続雇用を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用につながらなかったから 44.4%
8	当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため 22.2%
9	その他(具体的に 0.0%)

次ページの付問 11-3 にご回答ください。



↳ 付問 11-3 付問 11-2 で「7 継続雇用を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用につながらなかったから」または「8 当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため」とご回答の方にはうかがいます。事業で雇用した方の継続雇用につながなかったり、事業目標を達成できなかった理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=4 (無回答 0.0%)

1	事業内容は達成可能な計画であったが、実施する委託先に問題があった	0.0%
2	事業内容自体に問題があった	75.0%
3	事業内容、委託先ともに問題があった	0.0%
4	その他(具体的に	25.0%

)

問 12 実施したふるさと雇用再生特別基金事業の事業規模について、どのようにお考えですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=417 (無回答 4.3%)

1	適切な規模より大きかった	2.9%
2	適切な規模であった	91.6%
3	適切な規模より小さかった	1.2%

問 13 ふるさと雇用再生特別基金事業を実施するにあたり、貴自治体ではどのような点に苦労しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=417 (無回答 1.9%)

1	事業を実施するノウハウがなかった	17.3%
2	地域の産業が限られているなど、事業のメニューが限られた	12.7%
3	事業による仕事の内容と求職者が求める仕事の内容が異なっていた	5.0%
4	事業の委託先として適当な企業やNPOが地域にない(少ない)	22.1%
5	事業の委託先の応募数が少なかった	5.0%
6	事業内容が政策目標を達成するために適切なものかどうか判断に迷った	9.4%
7	事業の予算額が適切かどうか判断に迷った	11.3%
8	事業が計画通りに進まなかった	7.4%
9	事業を迅速に実施できなかった	2.9%
10	事業を実施するにあたり、部署間の連携がとれなかった	2.9%
11	基金事業を担当する職員が少なく、事業の管理が難しかった	22.8%
12	行政関係者以外の利害関係者に取組みが広がらなかった	2.6%
13	不適正事例が発生した	0.5%
14	その他(具体的に	4.3%
15	特にない	30.7%

)

問 14 ふるさと雇用再生特別基金事業を実施するための貴自治体の取組みについてうかがいます。

(1) 今回のふるさと雇用再生特別基金事業を実施する上で生じた様々な課題に対応するために、貴自治体ではどのような取組みを行いましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=417 (無回答 5.3%)

(2) ふるさと雇用再生特別基金事業を再び実施する場合、適切に対応するために、貴自治体ではどのような取組みが必要だと思えますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=417 (無回答 5.8%)

	(1) 今回行った取組み	(2) 今後必要な取組み
他の自治体での取組み事例を参考にして、貴自治体で活用できる事業の情報を蓄積する	21.6%	42.0%
委託先に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	17.0%	14.4%
求職者に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	7.0%	14.6%
求職者へのカウンセリングの実施や能力開発を充実させる	2.6%	10.1%
求職者に職場体験をしてもらうなど、求職者の就業の幅を広げられるような方法を講じる	0.7%	8.9%
求職者の希望を踏まえて事業を企画する	2.2%	9.6%
委託先の選定基準を柔軟にするなど、選定方法を工夫する	7.4%	13.2%
地域の企業や関係組織に事業への協力を依頼する	22.3%	25.4%
外部の専門家、学識経験者などから事業について助言や指導を得る	7.4%	13.7%
事業の進捗状況を随時点検し、析出された課題に対応する	29.0%	26.1%
委託先に対して調査や監査を実施し、適正な事業執行に努める	32.4%	23.5%
国、労働局などの関係機関、大学などとの連携を強化する	5.0%	12.2%
地域の利害関係者間の連携を強化する	7.7%	15.6%
専任の担当者を決めたり、部門横断的な取組み体制を作る	4.8%	11.0%
職員の中から専門人材を育成し、対応する	1.0%	9.1%
委託先や事業で雇用された人を対象に調査を実施して、課題に対応する	5.0%	17.3%
賃金水準や労働時間を地域の実情に合わせるよう調整する	10.6%	6.7%
事業についての評価を実施する	18.7%	26.4%
その他(具体的に )	1.0%	1.9%
特にない	12.5%	8.2%



問6 この事業の雇用計画人数、最終年度雇用実績人数、継続雇用者数、継続雇用者のうち正規雇用者数をご記入ください。N=4288（無回答 2.8%）

雇用計画人数(無回答 3.6%)					(人)	14.0(平均)
最終年度雇用実績人数(無回答 4.1%)					(人)	14.7(平均)
継続雇用者数(無回答 20.1%)					(人)	2.0(平均)
うち正規雇用者数(無回答 30.3%)					(人)	0.8(平均)

問7 この事業の企画・実施の仕方はどのように行いましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=4288（無回答 0.5%）

1	事業内容の企画・実施ともに競争入札にした 3.2%	付問 7-1、7-2 にご回答 ください。
2	事業内容の企画・実施ともに随意契約にした 9.1%	
3	事業内容の企画は自治体が行い、事業の実施だけを競争入札にした 26.5%	
4	事業内容の企画は自治体が行い、事業の実施だけを随意契約にした 27.3%	
5	事業の企画・実施とも自治体が行った 31.8%	→ 問8に進んでください。
6	その他(具体的に 2.6%)	)

付問 7-1 委託先を選ぶ際、価格以外にどのような評価基準で選びましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=2810（無回答 0.8%）

1	事業の実施体制が整備されていること 52.9%	
2	貴自治体もしくは近隣の自治体に活動拠点があること 37.3%	
3	事業の趣旨・目的が理解されていること 51.5%	
4	事業計画の内容が地域の課題やニーズに合っていること 17.0%	
5	事業計画の内容が具体的であること 12.5%	
6	事業の実施スケジュールが適切であること 12.8%	
7	事業計画の実行可能性が高いこと 40.7%	
8	同様の事業の実績があること 41.3%	
9	委託先の従業員規模が大きいこと 2.0%	
10	委託先の財務状況がよいこと 4.1%	
11	業績が良いこと 5.1%	
12	他の自治体からの紹介 0.2%	
13	委託先関係者が信頼できること 25.6%	
14	その他(具体的に 8.7%)	)
15	受託先の他には応募がなかった 2.5%	
16	特になし(価格だけで評価した) 14.3%	

付問 7-2 委託先を選ぶ際、特に重視したものはどれですか。付問 7-1 の項目からあてはまるものを1つ選んで、番号をお書きください。N=2810（無回答 3.7%）

1	19.8%	5	1.2%	9	0.1%	13	3.7%
2	6.2%	6	0.1%	10	0.1%	14	6.2%
3	12.1%	7	12.0%	11	0.3%	15	0.5%
4	4.9%	8	16.0%	12	0.0%	16	13.0%

### Ⅲ 事業の実施の状況についてうかがいます。

問8 基金事業についての評価を実施しましたか。ア～オの点についてあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(それぞれ○は1つ)。N=4288

	実施した	実施していない	実施した 一部の事業について 実施した (複数の事業を 実施した場合)
ア 事業の事前評価(無回答 8.1%)	22.4%	69.2%	0.4%
イ 事業実施中の中間評価(無回答 8.4%)	16.7%	74.1%	0.8%
ウ 事業の事後評価(無回答 8.0%)	37.4%	53.6%	1.0%
エ 評価結果の事業への反映(無回答 8.5%)	24.2%	66.1%	1.1%
オ 事業評価結果の情報公開(無回答 8.7%)	8.2%	82.5%	0.7%

問9 適正に事業を執行するために、どのような取組みをしましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=4288（無回答 9.3%）

1	事前に目的、目標、達成手段、各手段の目標達成への寄与などを明確にするようにした	65.3%
2	既に事業を実施している現場を視察したうえで選考した	9.5%
3	事業主体や担当部門にアンケートなどを実施し、事業計画の大まかな進捗状況や課題を把握した	7.2%
4	実施主体や担当部門にヒアリングを実施し、事業計画の進捗状況、経費状況、帳簿などを点検した	28.7%
5	専門家などで構成する委員会で事業の中間評価を行った	0.6%
6	専門家などから事業実施の助言を受け、事業計画の見直し、変更を行った	1.6%
7	中間評価が悪い事業は、規模を縮小または中止した	0.1%
8	第三者による監査を行った	1.8%
9	事業計画、執行状況、結果などの情報公開を徹底した	3.1%
10	その他(具体的に	7.4%

問 10 緊急雇用事業では、各年度ごとの事業配分を判断しながら事業計画を立案することが期待されますが、貴自治体では事業規模の配分をどのようにして決めましたか。以下の項目からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=4288 (無回答 10.0%)

1	雇用状況が悪い時期に重点的に配分し、改善するにしたがって縮小した	12.2%
2	雇用状況に関係なく、事業配分はほぼ同じであった	60.6%
3	その他(具体的に	17.1%

問 11 この事業と他の産業政策や地域振興のための事業を組み合わせ実施しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=4288 (無回答 5.9%)

1	この事業と他の産業政策や地域振興のための戦略・計画・事業を <u>意識的に</u> 組み合わせ実施した	6.8%
2	<u>意識的ではないが</u> 、結果としてこの事業と他の産業政策や地域振興のための事業を同時に実施した	1.8%
3	この事業と他の産業政策や地域振興のための事業とは関係なく実施した	82.8%
4	その他(具体的に	2.7%

付問にご回答ください。

付問 貴自治体では、基金事業以外にどのような事業を活用しましたか。事業名と所管の機関等の名称をご記入ください(主なもの3つまで)。

事業名	所管
①	
②	
③	

**IV 事業の評価と課題についてうかがいます。**

問 12 貴自治体では、今回の緊急雇用事業の成果をどのように評価しますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=4288 (無回答 2.5%)

1	良い	34.7%	} 付問 12-1 にご回答ください。
2	どちらかといえば良い	38.4%	
3	どちらともいえない	22.2%	} 付問 12-2 にご回答ください。
4	どちらかといえば悪い	2.0%	
5	悪い	0.2%	

→ 問 13 に進んでください。



問 13 今回の事業の規模は適切であったと思いますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=4288 (無回答 5.9%)

1	適切な規模よりも大きかった 1.7%
2	適切な規模であった 89.2%
3	適切な規模よりも小さかった 3.2%

問 14 緊急雇用事業を実施するにあたり、貴自治体ではどのような点に苦労しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=4288 (無回答 3.8%)

1	事業を実施するノウハウがなかった 15.1%
2	地域の産業が限られているなど、事業のメニューが限られていた 11.0%
3	事業による仕事の内容と求職者が求める仕事の内容が異なっていた 7.3%
4	事業の委託先として適切な企業やNPOが地域にない(少ない) 11.0%
5	事業の委託先の応募数が少なかった 6.7%
6	事業内容が政策目標を達成するために適切なものかどうか判断に迷った 6.0%
7	事業の予算額が適切かどうか判断に迷った 8.4%
8	事業が計画通りに進まなかった 3.8%
9	事業を迅速に実施できなかった 2.7%
10	事業を実施するにあたり、部署間の連携がとれなかった 2.1%
11	基金事業を担当する職員が少なく、事業の管理が難しかった 14.6%
12	行政関係者以外の利害関係者に取組みが広がらなかった 2.4%
13	不適正事例が発生した 0.1%
14	その他(具体的に 3.6%
15	特にない 38.6%



問 15 緊急雇用事業を実施するための貴自治体の取組みについてうかがいます。

(1) 今回の事業を実施する際に発生した様々な課題に対応するために、貴自治体ではどのような取組みを行いましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=4288 (無回答 11.3%)

(2) 今後、緊急雇用事業を再び実施する場合、適切に対応するために、貴自治体ではどのような取組みが必要だと思いますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=4288 (無回答 8.6%)

	(1) 今回行った取組み	(2) 今後必要な取組み
他の自治体での取組み事例を参考にして、貴自治体で活用できる事業の情報を蓄積する	17.5%	35.5%
委託先に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	10.7%	13.6%
求職者に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	9.9%	19.0%
求職者へのカウンセリングの実施や能力開発を充実させる	1.9%	8.0%
求職者に職場体験をしてもらうなど、求職者の就業の幅を広げられるような方法を講じる	1.5%	8.0%
求職者の希望を踏まえて事業を企画する	1.3%	8.0%
委託先の選定基準を柔軟にするなど、選定方法を工夫する	3.4%	8.2%
地域の企業や関係組織に事業への協力を依頼する	11.5%	12.4%
外部の専門家、学識経験者などから事業について助言や指導を得る	3.0%	6.9%
事業の進捗状況を随時点検し、析出された課題に対応する	21.7%	17.5%
委託先に対して調査や監査を実施し、適正な事業執行に努める	13.5%	12.6%
国、労働局などの関係機関、大学などとの連携を強化する	1.9%	5.9%
地域の利害関係者間の連携を強化する	2.8%	6.0%
専任の担当者を決めたり、部門横断的な取組み体制を作る	5.5%	10.8%
職員の中から専門人材を育成し、対応する	1.0%	6.9%
委託先や事業で雇用された人を対象に調査を実施して、課題に対応する	1.6%	11.1%
賃金水準や労働時間を地域の実情に合わせるよう調整する	7.0%	6.5%
事業についての評価を実施する	11.6%	20.6%
その他(具体的に )	0.5%	1.1%
特にない	27.0%	16.3%



問6 この事業の雇用計画人数、最終年度雇用実績人数、継続雇用者数、継続雇用者のうち正規雇用者数をご記入ください。N=2416（無回答 1.7%）

雇用計画人数(無回答 %)					(人)	21.3(平均)
最終年度雇用実績人数(無回答 %)					(人)	23.1(平均)
継続雇用者数(無回答 %)					(人)	4.6(平均)
うち正規雇用者数(無回答 %)					(人)	2.9(平均)

## II 事業の委託先の決め方についてうかがいます。

問7 この事業の企画・実施の仕方はどのように行いましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=2416（無回答 1.6%）

1	事業内容の企画・実施ともに競争入札にした	3.4%	} 付問 7-1、7-2 にご回答 ください。
2	事業内容の企画・実施ともに随意契約にした	19.1%	
3	事業内容の企画は自治体が行い、事業の実施だけを競争入札にした	13.1%	
4	事業内容の企画は自治体が行い、事業の実施だけを随意契約にした	36.8%	
5	事業の企画・実施とも自治体が行った	21.8%	} 問8に進んでください。
6	その他(具体的に )	5.6%	

付問 7-1 委託先を選ぶ際、価格以外にどのような評価基準で選びましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=1741（無回答 0.3%）

1	事業の実施体制が整備されていること	66.7%
2	貴自治体もしくは近隣の自治体に活動拠点があること	38.7%
3	事業の趣旨・目的が理解されていること	65.5%
4	事業計画の内容が地域の課題やニーズに合っていること	36.5%
5	事業計画の内容が具体的であること	28.8%
6	事業の実施スケジュールが適切であること	23.5%
7	事業計画の実行可能性が高いこと	56.3%
8	同様の事業の実績があること	38.2%
9	委託先の従業員規模が大きいこと	1.4%
10	委託先の財務状況がよいこと	6.1%
11	業績が良いこと	4.0%
12	他の自治体からの紹介	0.2%
13	委託先関係者が信頼できること	29.1%
14	その他(具体的に )	9.4%
15	受託先の他には応募がなかった	3.8%
16	特になし(価格だけで評価した)	6.7%

付問 7-2 委託先を選ぶ際、特に重視したものはどれですか。付問 7-1 の項目からあてはまるものを1つ選んで、番号をお書きください。N=1741（無回答 2.4%）

1	21.7%	5	3.3%	9	0.0%	13	3.0%
2	3.7%	6	0.4%	10	0.0%	14	5.5%
3	11.7%	7	17.3%	11	0.2%	15	1.0%
4	11.9%	8	12.1%	12	0.0%	16	5.9%

### Ⅲ 事業の実施の状況についてうかがいます。

問8 基金事業についての評価を実施しましたか。ア～オの点についてあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(それぞれ○は1つ)。N=2416

	実施した	実施していない	一部の事業について実施した (※複数の事業を 実施した場合のみ)
ア 事業の事前評価(無回答 6.4%)	27.8%	64.9%	0.9%
イ 事業実施中の中間評価(無回答 6.4%)	22.0%	70.2%	1.4%
ウ 事業の事後評価(無回答 5.4%)	45.1%	48.3%	1.2%
エ 評価結果の事業への反映(無回答 6.8%)	29.9%	61.5%	1.8%
オ 事業評価結果の情報公開(無回答 6.8%)	10.8%	81.6%	0.8%

問9 適正に事業を執行するために、どのような取組みをしましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=2416（無回答 7.1%）

1	事前に目的、目標、達成手段、各手段の目標達成への寄与などを明確にするようにした	64.9%
2	既に事業を実施している現場を視察したうえで選考した	9.8%
3	事業主体や担当部門にアンケートなどを実施し、事業計画の大きな進捗状況や課題を把握した	10.2%
4	実施主体や担当部門にヒアリングを実施し、事業計画の進捗状況、経費状況、帳簿などを点検した	44.5%
5	専門家などで構成する委員会で事業の中間評価を行った	0.7%
6	専門家などから事業実施の助言を受け、事業計画の見直し、変更を行った	2.3%
7	中間評価が悪い事業は、規模を縮小または中止した	0.4%
8	第三者による監査を行った	1.8%
9	事業計画、執行状況、結果などの情報公開を徹底した	2.4%
10	その他(具体的に	5.8%

問 10 新たな雇用機会の創出のために、この事業と他の産業政策や地域振興のための事業を組み合わせさせて実施しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=2416

(無回答 8.2%)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | この事業と他の産業政策や地域振興のための戦略・計画・事業を <u>意識的に</u> 組み合わせて実施した<br>11.5% |
| 2 | <u>意識的ではないが</u> 、結果としてこの事業と他の産業政策や地域振興のための事業を同時に実施した<br>3.1%  |
| 3 | 基金事業と他の産業政策や地域振興のための事業とは関係なく実施した 73.6%                        |
| 4 | その他(具体的に 3.5%   |

付問 貴自治体では、基金事業以外にどのような事業を活用しましたか。事業名と所管の機関等の名称をご記入ください(主なもの3つまで)。

事業名	所管
①	
②	
③	

**IV 事業の評価と課題についてうかがいます。**

問 11 今回の重点分野雇用創造事業の効果をどのように評価していますか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=2416 (無回答 1.0%)

- |   |                  |                     |
|---|------------------|---------------------|
| 1 | 良い 38.1%         | } 付問 11-1 にご回答ください。 |
| 2 | どちらかといえば良い 39.0% |                     |
| 3 | どちらともいえない 20.0%  | → 問 12 に進んでください。    |
| 4 | どちらかといえば悪い 1.8%  | } 付問 11-2 にご回答ください。 |
| 5 | 悪い 0.1%          |                     |

付問 11-1 問 11 で、「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とご回答の方にはうかがいます。「良い」「どちらかといえば良い」と評価された理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=1863 (無回答 0.2%)

1	事業によって雇用された方の多くが、受託先での継続雇用につながったから 22.8%
2	事業によって雇用された方の多くが、事業を通じて獲得した経験・スキル等により、受託先以外での雇用につながったから 23.0%
3	事業によって直接雇用された方の多くが、事業終了後の雇用につながったから 12.8%
4	受託先の人材確保による事業拡大を通じて具体的な「雇用の波及効果」につながったから 11.4%
5	企業誘致の成功、観光客の増加等、成果が具体的な「雇用の波及効果」につながったから 5.4%
6	事業を通じて NPO 等地域の関係者の育成や地域関係者の連携(ネットワーク)が構築できたから 13.5%
7	地域の実情に即した取組みが可能であるから 44.1%
8	「求職者の雇用機会を確保できた事業であること」以外に特に理由はない 14.0%
9	その他(具体的に 5.7%

付問 11-2 問 11 で、「4 どちらかといえば悪い」「5 悪い」とご回答の方にはうかがいます。「どちらかといえば悪い」「悪い」と評価された理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=47 (無回答 2.1%)

1	事業によって雇用された方の多くが、受託先での継続雇用につながらなかったから 46.8%
2	事業によって雇用された方の多くが、受託先以外での雇用につながらなかったから 8.5%
3	事業によって直接雇用された方の多くが、事業終了後の雇用につながらなかったから 31.9%
4	企業誘致の成功、観光客の増加等、成果が具体的な「雇用の波及効果」につながらなかったから 4.3%
5	事業を通じて NPO 等地域関係者の育成や連携につながらなかったから 0.0%
6	地域の実情に即した取組みが不可能であるから 0.0%
7	求職者のニーズを捉えておらず、募集しても応募がなかった(少なかった)から 12.8%
8	事業委託先の不適正経理等により、事業の中止や事業費の返還等を求めたから 0.0%
9	継続雇用や人材育成を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用や人材育成につながらなかったから 12.8%
10	当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため 14.9%
11	その他(具体的に 4.3%

次ページの付問 11-3 にご回答ください

付問 11-3 付問 11-2 で「9 継続雇用や人材育成を目的とした事業であったにもかかわらず、事業で雇用した方の継続雇用や人材育成につながらなかったから」または「10 当初想定していた事業目的を達成できなかった事業であるため」とご回答の方にかかっています。事業で雇用した方の継続雇用につながらなかったり、事業目標を達成できなかったりした理由は何ですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=12 (無回答 0.0%)

1	事業内容は達成可能な計画であったが、実施する委託先に問題があった	8.3%
2	事業内容自体に問題があった	58.3%
3	事業内容、委託先ともに問題があった	0.0%
4	その他(具体的に)	33.3%

問 12 実施した重点分野雇用創造事業の事業規模について、どのようにお考えですか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○は1つ)。N=2416 (無回答 5.2%)

1	適切な規模より大きかった	3.3%
2	適切な規模であった	88.9%
3	適切な規模より小さかった	2.6%

問 13 重点分野雇用創造事業の事業を実施するにあたり、貴自治体ではどのような点に苦労しましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。N=2416 (無回答 3.4%)

1	事業を実施するノウハウがなかった	13.4%
2	地域の産業が限られているなど、事業のメニューが限られていた	10.7%
3	事業による仕事の内容と求職者が求める仕事の内容が異なっていた	6.5%
4	事業の委託先として適当な企業やNPOが地域にない(少ない)	14.1%
5	事業の委託先の応募数が少なかった	7.9%
6	事業内容が政策目標を達成するために適切なものかどうか判断に迷った	5.6%
7	事業の予算額が適切かどうか判断に迷った	9.9%
8	事業が計画通りに進まなかった	7.2%
9	事業を迅速に実施できなかった	3.4%
10	事業を実施するにあたり、部署間の連携がとれなかった	1.7%
11	基金事業を担当する職員が少なく、事業の管理が難しかった	15.4%
12	行政関係者以外の利害関係者に取組みが広がらなかった	2.6%
13	不適正事例が発生した	0.1%
14	その他(具体的に)	4.1%
15	特になし	36.3%

問 14 重点分野雇用創造事業を実施するための貴自治体の取組みについてうかがいます。

(1) 今回の重点分野雇用創造事業を実施する上で生じた様々な課題に対応するために、貴自治体ではどのような取組みを行いましたか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。

N=2416 (無回答 8.6%)

(2) 重点分野雇用創造事業を再び実施する場合、適切に対応するために、貴自治体ではどのような取組みが必要だと思いませんか。以下からあてはまるものを選んで番号を○で囲んでください(○はいくつでも)。

N=2416 (無回答 7.9%)

	(1) 今回行った取組み	(2) 今後必要な取組み
他の自治体での取組み事例を参考にして、貴自治体で活用できる事業の情報を蓄積する	18.6%	34.4%
委託先に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	13.9%	15.6%
求職者に対する事業実施についての周知の方法を工夫する	11.1%	20.2%
求職者へのカウンセリングの実施や能力開発を充実させる	4.3%	10.1%
求職者に職場体験をしてもらうなど、求職者の就業の幅を広げられるような方法を講じる	3.9%	9.1%
求職者の希望を踏まえて事業を企画する	2.2%	9.4%
委託先の選定基準を柔軟にするなど、選定方法を工夫する	5.2%	8.3%
地域の企業や関係組織に事業への協力を依頼する	19.7%	17.1%
外部の専門家、学識経験者などから事業について助言や指導を得る	5.2%	10.9%
事業の進捗状況を随時点検し、析出された課題に対応する	27.7%	23.1%
委託先に対して調査や監査を実施し、適正な事業執行に努める	18.8%	15.0%
国、労働局などの関係機関、大学などとの連携を強化する	3.4%	8.9%
地域の利害関係者間の連携を強化する	5.3%	9.5%
専任の担当者を決めたり、部門横断的な取組み体制を作る	6.0%	10.1%
職員の中から専門人材を育成し、対応する	1.2%	7.0%
委託先や事業で雇用された人を対象に調査を実施して、課題に対応する	3.0%	12.9%
賃金水準や労働時間を地域の実情に合わせるよう調整する	8.2%	6.5%
事業についての評価を実施する	15.0%	24.3%
その他(具体的に )	0.7%	1.2%
特にない	19.4%	13.6%



## 委託先調査

## 1. 受託した事業、事業期間中の状況について

- 問1 ①貴事業所が受託した事業名（依頼文に記載した事業名）をご記入ください。  
②また、その事業の受託金額（受託した事業年度すべての合計金額）をお答えください。

①受託した事業名	省略
②受託金額 (N=4384)	約 ( 401484.1 (平均) ) 千円

問2 貴事業所が受託した事業の分野は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○) N=4463

- |              |              |               |
|--------------|--------------|---------------|
| 1 介護・福祉 9.5% | 5 情報通信 8.0%  | 9 治安・防災 5.5%  |
| 2 子育て 1.4%   | 6 観光 11.0%   | 10 教育・文化 9.7% |
| 3 医療 1.8%    | 7 環境 13.3%   | 11 その他 10.3%  |
| 4 産業振興 12.7% | 8 農林漁業 14.9% | (無回答 1.8%)    |

問3 貴事業所が事業を受託しようと考えたのはどのような理由からですか。 N=4463  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業を通じて必要な人数を採用していくため 23.6%
  - 2 事業を通じていい人材を採用するきっかけとするため 34.0%
  - 3 人材育成に課題を感じていたから 7.1%
  - 4 新たに事業を起こそうと考えたから 9.7%
  - 5 既存の事業の拡大を考えていたから 29.7%
  - 6 自治体から要請があったから 41.1%
  - 7 自治体のサポートがあったから 19.7%
  - 8 委託費があったから 27.4%
  - 9 その他(具体的に: ) 6.5%
- (無回答 1.2%)

問4 貴事業所が受託した事業の事業実施期間をお聞かせください。

西暦 ( 省略 ) 年度 ~ ( 省略 ) 年度

問5 貴事業所が採用者を募集した経路についてお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ハローワーク 93.7%  
 2 民間の職業紹介機関 8.1%  
 3 地方自治体のホームページ、広報誌 8.5%  
 4 その他(具体的に: ) 14.1%  
 (無回答 1.4%)

問6 貴事業所が受託した事業について、①事業期間中に新規に雇用した人数(雇用実績人数)は何人ですか。②そのうち、事業期間終了後も継続雇用した人数(継続雇用者数)、継続雇用者数のうち正規雇用として雇用継続した人数(正規雇用者数)についてもお聞かせください。

①雇用実績人数 (N=4412)	( 9.4 (平均) ) 人
②継続雇用者数 (N=4261)	( 1.6 (平均) ) 人
(うち正規雇用者数) (N=3926)	( 0.8 (平均) ) 人

問7 貴事業所が受託した事業において採用を行った際に、どのようなことを重視しましたか。

(あてはまるものすべてに○) N=4463

- 1 専門的知識・技能 35.9%  
 2 一般常識 47.4%  
 3 学歴 2.1%  
 4 年齢 14.9%  
 5 これまでの職歴 33.8%  
 6 仕事に必要な資格の有無 15.6%  
 7 職場になじめるかどうか 40.5%  
 8 やる気・意欲 86.2%  
 9 転職回数が少ないこと 3.0%  
 10 その他 7.3%  
 (具体的に: )  
 (無回答 0.5%)

付問7-1 そのうち最も重視したことは何ですか。 N=4440

(問7の選択肢1~10から1つを選び番号をご記入ください。)

- 1 専門的知識・技能 15.2%  
 2 一般常識 6.2%  
 3 学歴 0.0%  
 4 年齢 0.9%  
 5 これまでの職歴 6.0%  
 6 仕事に必要な資格の有無 3.6%  
 7 職場になじめるかどうか 5.3%  
 8 やる気・意欲 57.4%  
 9 転職回数が少ないこと 0.1%  
 10 その他 4.3% (無回答 0.9%)

問8 受託した事業における貴事業所の応募者と採用者について、どう評価していますか。

(a~dについてそれぞれ1つに○) N=4463

		はい	どちらとも いいない	いいえ
a. 応募者の人数は十分だった	(無回答 1.3%)	61.2%	25.5%	12.0%
b. 応募者の質は適切だった	(無回答 1.3%)	46.0%	46.5%	6.3%
c. 採用者の人数は十分だった	(無回答 1.6%)	79.4%	15.3%	3.7%
d. 採用者の質は適切だった	(無回答 1.5%)	59.4%	34.5%	4.6%

問9 受託した事業において雇用した者の平均賃金をお聞かせください。

(月額か日額のいずれかをご記入ください。)

月額 ・ 日額 (○をつけてください)	約 (            ) 万 (            ) 千円
------------------------	--------------------------------------

月額 (N=2135) ・ ・ ・ 169.3 千円 (平均)

日額 (N=2222) ・ ・ ・ 10.2 千円 (平均)

問10 受託した事業で雇用した人の賃金を決める際に何を重視しましたか。

(あてはまるものすべてに○) N=4463

- 1 地域の賃金相場 56.4%
  - 2 雇用者の年齢 9.4%
  - 3 雇用者の技能・経験 28.1%
  - 4 雇用者と他の社員とのバランス 34.8%
  - 5 その他(具体的に:            ) 17.9%
- (無回答 1.7%)

問11 受託した事業で雇用した人の週あたりの就業日数、1日あたりの労働時間(残業を含む実労働時間)をお答えください。業務の繁閑などによって変動がある場合は、平均したところの日数・時間をお答えください。

週あたりの就業日数 (N=4422)	( 4.9 (平均) ) 日
1日あたりの労働時間 (N=4411)	約 ( 7.5 (平均) ) 時間

問 12 受託した事業で雇用した人の雇用管理について、貴事業所で心がけていた取組みはありますか。

(あてはまるものすべてに○) N=4463

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1 賃金水準を高める 4.8%          | 7 雇用者の定着を働きかける 30.5%          |
| 2 仕事の裁量性を高める 26.0%       | 8 雇用者の家庭生活(育児・介護等)を配慮する 19.9% |
| 3 個人の経験・技能を配置に反映する 39.1% | 9 その他 4.3%                    |
| 4 個人の経験・技能を処遇に反映する 10.5% | (具体的に: )                      |
| 5 職場の人間関係をよくする 49.5%     | 10 特に心がけていた取組みはない 6.9%        |
| 6 能力開発・教育訓練を充実する 26.0%   |                               |
- (無回答 1.0%)

## 2. 受託した事業期間が終了した後の状況について

問 13 貴事業所が受託した事業の、事業期間終了後の継続状況をお聞かせください。(1つに○)

N=4463

- 1 現在まで継続している 23.4% →付問 13-1 へ
- 2 事業期間終了後も一定期間継続したが、現在までに終了した 5.7% →付問 13-1 へ
- 3 事業期間終了とともに事業を継続しなかった 65.9% →問 14 へ
- (無回答 5.1%)

*問 13 で 1 もしくは 2 と回答した方におうかがいします*

付問 13-1 貴事業所が事業を継続した際の財源についてお聞かせください。(1つに○) N=1296

- 1 貴事業所の自主事業として実施(自治体からの補助なし) 40.6%
- 2 基金事業の委託費相当額の一部を自治体が負担 16.1%
- 3 基金事業の委託費相当額の全額を自治体が負担 28.0%
- 4 その他(具体的に: ) 13.3%
- (無回答 1.9%)

問 14 基金事業終了後、事業期間中に雇用した人を継続して雇用しましたか。(1つに○) N=4463

- 1 全員を継続して雇用した 11.0% →付問 14-1 へ
- 2 一部を継続して雇用した 30.7% →付問 14-1 へ
- 3 継続して雇用しなかった 49.9% →付問 14-3 へ
- (無回答 8.3%)

付問 14-1 へ

付問 14-3 へ

**問 14 で 1 もしくは 2 と回答した方におうかがいします**

付問 14-1 継続して雇用した人の雇用形態についてお聞かせください。(1つに○) N=1862

- 1 全員を正社員として雇用した 24.4%  
 2 一部を正社員、その他を非正社員として雇用した 24.6%  
 3 全員を非正社員として雇用した 48.2%  
 (無回答 2.8%)

付問 14-2 継続雇用する人を決定した際に、どのようなことを重視しましたか。 N=1862

(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 事業期間内での働きぶり 76.7% | 8 仕事に必要な資格の有無 13.0% |
| 2 雇用者本人の希望 57.4%    | 9 職場になじめるかどうか 30.9% |
| 3 専門的知識・技能 27.3%    | 10 やる気・意欲 74.0%     |
| 4 一般常識 19.5%        | 11 転職回数が少ないこと 1.0%  |
| 5 学歴 1.6%           | 12 その他 2.3%         |
| 6 年齢 7.7%           | (具体的に: )            |
| 7 これまでの職歴 8.3%      | (無回答 2.5%)          |

付問 14-2-1 そのうち最も重視したことは何ですか。 N=1816

(問 14-2 の選択肢 1~12 から 1つを選び番号をご記入ください。)

--

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 事業期間内での働きぶり 44.5% | 8 仕事に必要な資格の有無 2.2% |
| 2 雇用者本人の希望 12.2%    | 9 職場になじめるかどうか 2.4% |
| 3 専門的知識・技能 9.6%     | 10 やる気・意欲 24.9%    |
| 4 一般常識 0.5%         | 11 転職回数が少ないこと 0.1% |
| 5 学歴 0.1%           | 12 その他 1.4%        |
| 6 年齢 0.4%           | (無回答 0.8%)         |
| 7 これまでの職歴 0.9%      |                    |

**問 14 で 3 と回答した方におうかがいします**

付問 14-3 継続して雇用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) N=2229

- 1 事業を継続しなかったため 68.5%  
 2 雇用者の質に問題があったため 7.1%  
 3 雇用する資金的余力がなかったため 27.4%  
 4 雇用者自身が継続を希望しなかったため 17.5%  
 5 その他(具体的に: ) 12.2%  
 (無回答 0.3%)

問 15 基金事業の効果についてお聞かせください。(あてはまるものすべてに○) N=4463

- 1 基金事業をきっかけとして、必要な人数の採用につながった 31.3%
  - 2 基金事業をきっかけとして、質の高い人材の採用ができた 15.8%
  - 3 人材育成を充実させることができた 19.4%
  - 4 新規事業の立ち上げに成功した 11.1%
  - 5 既存事業の拡大につながった 41.1%
  - 6 その他(具体的に: ) 13.8%
- (無回答 6.5%)

問 16 基金事業に関わる課題や改善のための要望をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

N=4463

- 1 事務手続きの簡素化 17.0%
  - 2 事業期間の長さをもっと長くしてほしい 41.6%
  - 3 委託先選定に関わる要件が厳しすぎる 6.3%
  - 4 事業期間終了後に事業を継続することが困難 32.7%
  - 5 委託費の金額を上げてほしい 22.2%
  - 6 金銭面以外でのサポート(人的支援、ノウハウの提供など) 6.7%
  - 7 制度の周知・情報提供 13.6%
  - 8 その他(具体的に: ) 8.3%
  - 9 課題や要望は特にない 14.5%
- (無回答 2.8%)

**問 16 で 1 と回答した方におうかがいします**

付問 16-1 具体的にどの手続きを簡素化すればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

### 3. 貴事業所について

問 17 貴事業所を運営している組織の形態についてお聞かせください。(1つに○) N=4463

- 1 民間企業 51.6% →付問 17-1 へ
  - 2 NPO 5.7%
  - 3 社会福祉法人 6.0%
  - 4 社団法人、観光協会、国際協会、商工会等 13.5%
  - 5 森林組合、農業協同組合、農事組合法人、木材協会等 8.2%
  - 6 協議会等任意団体 3.6%
  - 7 その他(具体的に: ) 11.0%
- (無回答 0.5%)

*問 17 で 1 と回答した方におうかがいします*

付問 17-1 貴事業所の業種名をお聞かせください。(1つに○) N=2302

- |                      |                                  |
|----------------------|----------------------------------|
| 1 農林漁業・鉱業 4.6%       | 11 医療・保健衛生・福祉 2.5%               |
| 2 建設業 22.1%          | 12 教育・学習支援業 2.0%                 |
| 3 製造業 3.9%           | 13 郵便局 0.0%                      |
| 4 電気・ガス・熱供給・水道業 0.3% | 14 人材派遣業・人材紹介業などの<br>人材ビジネス 6.8% |
| 5 情報・通信業 17.3%       | 15 その他のサービス業 29.8%               |
| 6 運輸業 2.0%           | (理美容、娯楽、廃棄物処理業など)                |
| 7 卸売・小売業 2.5%        | 16 その他( ) 4.0%                   |
| 8 飲食店・宿泊業 0.9%       | (無回答 0.9%)                       |
| 9 金融・保険業 0.0%        |                                  |
| 10 不動産業 0.6%         |                                  |

問 18 貴事業所の本社がある都道府県をお答えください。

省略

(都・道・府・県)

問 19 貴事業所の人員構成についてうかがいます。受託した事業終了時点の数字を以下の回答欄に記入してください。(いない場合には0とご記入ください。)

※非正社員には、派遣労働者、請負労働者といった貴事業所で直接雇用していない人は含まないでください。

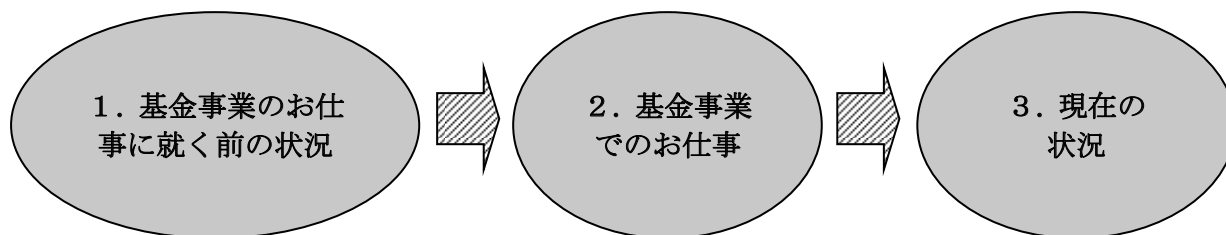
正社員 (N=4269) (常勤の役員、家族従業員を含む)	( 81.8 (平均) ) 人
非正社員 (N=4224) (パート、アルバイト、契約・嘱託社員など正社員以外の従業員)	( 127.4 (平均) ) 人
合 計 (N=4239)	( 206.0 (平均) ) 人



## 雇用者調査

あなたが、地方自治体が実施する「雇用創出基金事業（重点分野雇用創出事業及び地域人材育成事業）」で就いたお仕事（下図の2）についてと、そのお仕事に就く前の状況（下図の1）、現在の状況（下図の3）についてお聞かせください。

アンケートでお聞きすること



### 1. 基金事業のお仕事に就く前の状況について

問1 基金事業のお仕事に就く以前に、就労した経験がございますか。（1つに○） N=2131

- 1 ある 87.2% →問2へ  
2 ない 12.1% →問9（5ページ）へ （無回答 0.7%）

基金事業のお仕事に就く以前、「最後に勤務されていた勤め先」についてお聞かせください

問2 その勤め先での就業形態を教えてください。（1つに○） N=1858

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 正規の職員・従業員（一般職員、正社員） 40.0% | 4 契約社員（有期雇用契約） 19.1% |
| 2 パートタイマー・アルバイト 27.7%       | 5 自営業・家族従業員 2.9%     |
| 3 労働者派遣事業所の派遣社員 6.8%        | 6 その他（具体的に： ） 2.6%   |
- （無回答 1.0%）

問3 そのお勤め先の業種は次のどれにあたりますか。（1つに○） N=1858

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 農林漁業 2.0%          | 7 卸売・小売業 9.3%     |
| 2 鉱業 0.1%            | 8 金融・保険・不動産業 4.6% |
| 3 建設業 4.7%           | 9 サービス業 28.0%     |
| 4 製造業 12.5%          | 10 公務 14.5%       |
| 5 電気・ガス・熱供給・水道業 1.3% | 11 その他 15.0%      |
| 6 運輸・通信業 4.6%        |                   |
- （無回答 3.6%）

問4 勤め先の企業全体の従業員数（非正社員を含む）はどのくらいでしたか。（1つに○）

N=1858

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 1～29人 28.3%    | 4 300～999人 12.5% |
| 2 30～99人 17.7%   | 5 1,000人以上 14.7% |
| 3 100～299人 15.4% | 6 官公庁・公的機関 9.6%  |
| (無回答 1.8%)       |                  |

問5 その勤め先での仕事内容は次のどれにあたりますか。（1つに○） N=1858

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 専門的・技術的な仕事 26.3% | 6 生産工程・労務の仕事 8.2% |
| 2 管理の仕事 6.4%       | 7 農林漁業の仕事 1.5%    |
| 3 事務の仕事 25.7%      | 8 その他の仕事 2.5%     |
| 4 販売・サービスの仕事 25.0% | ( )               |
| 5 運輸・通信・保安の仕事 3.1% |                   |
| (無回答 1.1%)         |                   |

問6 その勤め先を辞められた理由についてお聞かせください。（1つに○） N=1858

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 自己都合による 47.0% | 5 会社の倒産 1.9%     |
| 2 事業主都合による 6.8% | 6 事業所の整理・閉鎖 4.5% |
| 3 契約期間の満了 25.0% | 7 その他 5.2%       |
| 4 定年退職 8.1%     | (無回答 1.7%)       |

問7 その勤め先を辞められた時期と勤続期間をお聞かせください。

勤め先を辞めた時期	勤続期間
西暦（ 省略 ）年（ ）月	約（ ）年（ ）ヶ月

勤続期間 (N=1806)・・・7.3年(平均)

問8 その勤め先は、それまでで最も長く勤務された勤め先ですか。(1つに○) N=1858

- 1 はい 44.3% →問9 (5ページ)へ  
 2 いいえ 55.0% →付問8-1へ  
 (無回答 0.7%)

基金事業のお仕事に就く以前の、「最も長く勤務された勤め先」についてお聞かせください

付問8-1 その勤め先での就業形態を教えてください。(1つに○) N=1022

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1 正規の職員・従業員 64.5%     | 4 契約社員(有期雇用契約) 8.7% |
| (一般職員、正社員) 17.9%      | 5 自営業・家族従業員 3.8%    |
| 2 パートタイマー・アルバイト 17.9% | 6 その他 2.0%          |
| 3 労働者派遣事業所の派遣社員 2.8%  | (具体的に: )            |
- (無回答 0.3%)

付問8-2 そのお勤め先の業種は次のどれにあたりますか。(1つに○) N=1022

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 農林漁業 1.4%          | 7 卸売・小売業 13.1%    |
| 2 鉱業 0.1%            | 8 金融・保険・不動産業 7.0% |
| 3 建設業 5.5%           | 9 サービス業 27.3%     |
| 4 製造業 16.5%          | 10 公務 7.1%        |
| 5 電気・ガス・熱供給・水道業 0.7% | 11 その他 13.5%      |
| 6 運輸・通信業 4.7%        | (無回答 3.0%)        |

付問8-3 その勤め先での仕事内容をお聞かせください。(1つに○) N=1022

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 専門的・技術的な仕事 29.6% | 6 生産工程・労務の仕事 5.8% |
| 2 管理の仕事 6.7%       | 7 農林漁業の仕事 1.0%    |
| 3 事務の仕事 25.2%      | 8 その他の仕事 1.8%     |
| 4 販売・サービスの仕事 27.4% | (無回答 1.0%)        |
| 5 運輸・通信・保安の仕事 1.6% |                   |

付問8-4 その勤務先での勤続年数はどのくらいでしたか。 N=1005

約 ( ) 年 ( ) ヶ月

勤続期間・・・11.1年(平均)

## 2. 基金事業でのお仕事について

問9 あなたが「基金事業でのお仕事」に就いた時期は何年何月ですか。

西暦（ 省略 ）年（ ）月

問10 「基金事業でのお仕事」に就くまでの、仕事を探していた期間はどのくらいですか。

（1つに○） N=2131

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 1ヶ月未満 27.0%      | 4 6ヶ月以上1年未満 17.3% |
| 2 1ヶ月以上3ヶ月未満 22.6% | 5 1年以上 16.5%      |
| 3 3ヶ月以上6ヶ月未満 15.3% | （無回答 1.2%）        |

問11 「基金事業でのお仕事」に就く直前の雇用保険（失業給付など）の受給状況についてお聞かせください。（1つに○） N=2131

- 1 雇用保険を受給中であった（待機期間、給付制限期間中を含む） 15.4%
  - 2 雇用保険の受給が終了していた 30.4%
  - 3 雇用保険を受給したことはない 52.8%
- （無回答 1.4%）

問12 「基金事業でのお仕事」への応募経路をお聞かせください。（1つに○） N=2131

- 1 ハローワーク 65.8%
  - 2 民間の職業紹介機関 8.7%
  - 3 地方自治体のホームページ、広報誌 9.0%
  - 4 その他（具体的に： ） 13.5%
- （無回答 3.1%）

問 13 「基金事業でのお仕事」に応募した理由をお聞かせください。 N=2131

(あてはまるものすべてに○)

- 1 仕事内容が希望と合致したから 49.6%
- 2 経験・技能を活かせると感じたから 37.7%
- 3 給料が希望の範囲内だったから 18.4%
- 4 労働時間、休日、通勤が希望の範囲内だったから 45.4%
- 5 都道府県、市町村が実施する事業だったから 21.1%
- 6 経験、資格、技能が不問だったから 16.5%
- 7 他に仕事がなかったから 19.4%
- 8 その他(具体的に: ) 6.1%

(無回答 0.8%)

問 14 「基金事業でのお仕事」の雇用契約期間\*についてお聞かせください。(1つに○)

\*基金事業終了後にその勤め先で継続して雇用された期間は除いてお答えください。 N=2131

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 1ヶ月未満 2.5%       | 4 6ヶ月以上9ヶ月未満 14.5% |
| 2 1ヶ月以上3ヶ月未満 12.8% | 5 9ヶ月以上1年未満 30.5%  |
| 3 3ヶ月以上6ヶ月未満 26.3% | 6 1年以上 11.5%       |

(無回答 1.8%)

問 15 「基金事業でのお仕事」の仕事内容についてお聞かせください。(1つに○) N=2131

(※どれにあてはまるかわからない場合は「8 その他の仕事」に○をし、具体的な仕事内容を記入してください。)

- 1 専門的・技術的な仕事(教員補助者、進路相談支援員、保育士、介護補助者等) 30.1%
- 2 事務の仕事(一般事務、各種調査員等) 34.7%
- 3 サービスの仕事(宣伝員、コーディネーター、接客業等) 13.9%
- 4 保安の仕事(警備員、保守点検員等) 2.9%
- 5 農林漁業の仕事(農林水産業作業等) 6.9%
- 6 運輸・通信の仕事(自動車等運転手等) 0.9%
- 7 労務の仕事(イベント開催作業、外来種除去作業等) 4.1%
- 8 その他の仕事(具体的に: ) 5.4%

(無回答 1.0%)

問 16 「基金事業でのお仕事」の賃金についてお聞かせください。

(月額か日額のいずれかをご記入ください。)

月額 ・ 日額 (○をつけてください)	約 (            ) 万 (            ) 千円
月額 (N=1141) ・ ・ ・ 151.2 千円 (平均)	
日額 (N=913) ・ ・ ・ 10.1 千円 (平均)	

問 17 「基金事業でのお仕事」の週就業日数、1日あたりの労働時間をお聞かせください。

(残業を含む実労働時間をお答えください。)

週あたりの就業日数 (N=2083)	(        4.8 (平均)        ) 日
1日あたりの労働時間 (N=2105)	約 (        7.5 (平均)        ) 時間

問 18 「基金事業でのお仕事」は、ご自身にとって役に立ちましたか。(1つに○) N=2131

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 大変役に立った 41.2%</p> <p>2 役に立った 48.1%</p> <p>3 どちらでもない 7.0%</p> <p>(無回答 1.1%)</p> | <p>4 役に立たなかった 1.6%</p> <p>5 まったく役に立たなかった 0.9%</p> |
|---|---|

付問 18-1 は、問 18 で 1 または 2 を選んだ方にお聞きします。

付問 18-1 どのように役に立ったのか、その理由をお聞かせください。(1つに○)

N=1903

- |  |   |
|--|---|
| <p>1 仕事の内容が合っていた 27.0%</p> <p>2 当面の収入が得られた 21.7%</p> <p>3 経験・技能の蓄積につながった 37.4%</p> | <p>4 雇用期間が適当だった 1.7%</p> <p>5 その他 (            ) 2.5%</p> <p>(無回答 9.8%)</p> |
|--|---|

付問 18-2 は、問 18 で 4 または 5 を選んだ方にお聞きします。

付問 18-2 どのように役に立たなかったのか、その理由をお聞かせください。(1つに○)

N=55

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 仕事の内容が合わなかった 12.7%</p> <p>2 得られた収入が少なかった 12.7%</p> <p>3 経験・技能が身に付かなかった 30.9%</p> | <p>4 雇用期間が短かった 29.1%</p> <p>5 その他 (            ) 9.1%</p> <p>(無回答 5.5%)</p> |
|---|---|

### 3. 現在の状況について

問 19 現在あなたは収入をとまなうお仕事をされていますか。(1つに○) N=2131

- 1 はい 76.1% →付問 19 - 1 へ  
 2 いいえ 23.7% →付問 19 - 6 (9ページ) へ  
 (無回答 0.2%)

付問 19-1~19-5 は、問 19 で 1 を選んだ方にお聞きします。

付問 19 - 1 現在の就業形態についてお聞かせください。(1つに○) N=1622

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 正規の職員・従業員 29.1%     | 4 契約社員(有期雇用契約) 29.9% |
| (一般職員、正社員)            | 5 自営業・家族従業員 2.3%     |
| 2 パートタイマー・アルバイト 28.2% | 6 その他 5.4%           |
| 3 労働者派遣事業所の派遣社員 3.8%  | (無回答 1.4%)           |

付問 19 - 2 「基金事業でのお仕事」と同じ勤め先ですか。(1つに○) N=1622

- 1 「基金事業でのお仕事」と同じ勤め先で継続して働いている 46.8% →問 20 へ  
 2 「基金事業でのお仕事」とは別の勤め先で働いている 46.2% →付問 19-3 へ  
 3 起業、創業した 2.0% →付問 19-3 へ  
 (無回答 5.8%)

付問 19 - 3 「基金事業でのお仕事」の勤め先を辞められたのはいつですか。

西暦 ( 省略 ) 年 ( ) 月

付問 19 - 4 「基金事業でのお仕事」を辞めてから、その次のお仕事に就くまでの期間  
 (仕事をしていなかった期間)はどのくらいでしたか。(1つに○) N=782

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 10日未満 39.3%      | 4 3ヶ月以上6ヶ月未満 17.0% |
| 2 10日以上1ヶ月未満 15.0% | 5 6ヶ月以上 4.5%       |
| 3 1ヶ月以上3ヶ月未満 23.3% | (無回答 1.0%)         |

付問 19 - 5 「基金事業でのお仕事」に就いたことは、現在の仕事に就く上で役に立ちましたか。(あてはまるものすべてに○) N=782

- 1 「基金事業でのお仕事」に就いたことで、仕事を探す期間が短くなった 24.2%
  - 2 「基金事業でのお仕事」を通じて蓄積した経験・技能が活かされた 39.9%
  - 3 「基金事業でのお仕事」を通じて自分の適性が明らかになった 21.1%
  - 4 「基金事業でのお仕事」の勤め先が現在の仕事を探してくれた 10.6%
  - 5 その他(具体的に: ) 6.5%
  - 6 特に役に立たなかった 22.5%
- (無回答 2.2%)

付問 19-6~19-7は、問 19 で2を選んだ方にお聞きします。

付問 19 - 6 「基金事業でのお仕事」を辞めてから、現在までに就労した経験はありますか。(1つに○) N=505

- 1 ある 25.7%
  - 2 ない 66.1%
- (無回答 8.1%)

付問 19 - 7 現在あなたは仕事を探していますか。(1つに○) N=505

- 1 仕事を探している 71.7%
  - 2 仕事を探していない 22.4%
- (無回答 5.9%)

## 4. あなたご自身について

問 20 あなたの性別をお聞かせください。(1つに○) N=2131

- 1 男性 45.0%
  - 2 女性 54.7%
- (無回答 0.2%)

問 21 あなたの年齢をお聞かせください。 N=2114

満 ( 42.9 (平均) ) 歳
-------------------



問 22 あなたが最後に通われた学校は次のどれですか。(1つに○) N=2131

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 中学校 2.6%   | 4 高専・短大 14.2% |
| 2 高校 28.1%   | 5 大学 38.7%    |
| 3 専門学校 13.4% | 6 大学院 2.4%    |
- (無回答 0.7%)

問 23 あなたには現在、配偶者がいますか。(1つに○) N=2131

- 1 いる 50.5%
- 2 いない 48.9%
- (無回答 0.5%)

問 24 あなたは家計の主たる生計維持者(前年1年間の世帯の収入の中で、本人の収入が最も多い)ですか。(1つに○) N=2131

- 1 主たる生計維持者である 31.0%
- 2 主たる生計維持者ではない 57.9%
- 3 単身世帯である 9.9%
- (無回答 1.1%)

問 25 2013年7月のあなた個人の月収は税込みでどのくらいでしたか。臨時収入、副収入、年金等も含めてお答えください。(1つに○) N=2131

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 なし 12.8%        | 5 30~40万円未満 3.1% |
| 2 10万円未満 17.0%    | 6 40~50万円未満 0.7% |
| 3 10~20万円未満 51.6% | 7 50万円以上 0.4%    |
| 4 20~30万円未満 12.9% | (無回答 1.5%)       |

問 26 2013年7月の世帯の月収は税込みでどのくらいでしたか。臨時収入、副収入、年金等も含めてお答えください。(1つに○) N=2131

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 なし 3.1%         | 6 40~50万円未満 10.3% |
| 2 10万円未満 3.8%     | 7 50~60万円未満 6.0%  |
| 3 10~20万円未満 20.1% | 8 60~80万円未満 5.3%  |
| 4 20~30万円未満 22.1% | 9 80~100万円未満 1.7% |
| 5 30~40万円未満 17.8% | 10 100万円以上 2.4%   |
- (無回答 7.3%)

---

JILPT 調査シリーズ No.118

雇用創出基金事業の政策効果の検証

発行年月日 2014年5月30日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

印刷・製本 富士プリント株式会社

---

©2014 JILPT

\* 調査シリーズ全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)